

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

名古屋 ちくさ

題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 名古屋東急ホテル
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 谷口 優
 幹事 竹内 克豊
 広報・会報委員長 池 森 由 幸

No. 10 奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

2012~2013年度 RI会長 田中 作次

今日の例会
 第1424回 平成24年9月18日(火)
 友愛の日

先週の例会
 第1423回 平成24年9月11日(火)曇
 ガバナー補佐訪問
 井上 雅之 ガバナー補佐
 安藤 東元 地区副幹事
 平岩 光二 分区幹事

◆それこそロータリー

◆四つのテスト

◆ビジター紹介

東名古屋分区	井上 雅之 ガバナー補佐
第2760地区	安藤 東元 地区副幹事
東名古屋分区	平岩 光二 分区幹事

◆出席報告

会員	40 (32) 名	出席	26名
出席率	81.26 %		
前々回	8/28 (修正出席率)	100 %	

竹内幹事報告

1) 本日例会終了後、クラブアセンブリーを、開催致しますので理事役員・各委員長は3F 梅の間にお集まり下さい。その後、理事役員会を開催致しますので、理事役員の方はそのままお残り下さい。

谷口会長挨拶



学校教育につき思うこと
 教育と聞けば、家庭教育、生涯教育、学校教育、義務教育が思い浮かびます。家庭教育は、親が子供に行う教育です。親の裁量に任せられます。生涯教育は、本人が自己研鑽として自己自身の目的等に依り行うものです。学校教育あるいは義

務教育は、どのように考えるのでしょうか？

そんなものは国が勝手に考え、関の正当が勝手に行うものでだと言うように利己的に考える意見もあるでしょうが、教育とは時代および地域を超えて重要な問題と言えます。日本国憲法は、26条1項で「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。第2項は「すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負う。義務教育はこれ無償とする」と定めています。この規定は国が無償の義務教育を行うことを定め、それを国民の権利であるとしています。多くの先進諸国でこのような憲法の定めがあります。ただ、国に拘束されずに教育をすることも憲法89条および19条、21条、23条の定めからはできません。

何故国が国民に教育をするのでしょうか。それは教科書検定にもかかわってくる問題でもあります。国が一定の産業形態を維持し、国の環境を維持するためには、そのような知識、技能を有する国民が必要です。また対外的な危害からの防衛についてもそのような知識が必要です。文化的な風習などを維持したいと思う場合、それを伝えて行くことが必要になります。このような要素を総合的に表すならば、それは文化遺産を次の世代に承継させて行くことであると言えます。このような文化遺産を将来の国民に承継させることが、国の義務であるとの定めが、憲法26条なのです。教育とは文化遺産の承継と定義できます。自国の産業を含む文化のレベルと維持するためには、教育はなくてはならないものなのです。従って日本が歩んできた歴史を伝えることも文化遺産の承継として重要なことであり、それは偏見のない内容でなければなりません。そのような教育を誰でもが受けられるように義務教育を無償としているのです。

偏見のない教育のためには、教える側の登用試験は厳しいものである必要があります。教科書も偏見のないものである必要から日本では検定制度が法定されています。教育レベルが高いほど、国の文化的レベルおよび愛国心も強くなるはずですが。戦後の日本の教育は敗戦という事態を経験したことから、国家観(国家とは何かという価値判断)が混沌とした中で行われてきました。

教育とは、国の方針を左右し、国の産業構造を変革する要素、愛国心をはぐくむ要素をもっており、義務教育がどうあるべきかは、今後の国家の行く末を決定することにもなります。国による教育を考える場合には、教育とは総括的に言うならば文化遺産の承継であるという側面を十分ご理解願いたいと思います。

井上雅之ガバナー補佐 ご挨拶



皆さん、こんにちは。まさに一生に一度の機会 貴クラブを訪問させて頂いていることを大変光栄に存じます。

今年度 RI 会長の田中作次さんは、過去日本から 3 人目 30 年ぶりで、第 2770 地区埼玉県八潮ロータリークラブ所属、1975 年ご入会です。ご幼少の頃より、大変にご苦勞の多い方で、いろいろな経験を味わった方だけに、思慮深く、相手が誰であっても、絶えず笑顔で接しておられる熱意と誠意に満ちあふれたお人柄であります。

今年度の RI テーマ「奉仕を通して平和を」

「平和」とは、非常に抽象的で定義しにくい言葉であり、住んでいる国や地域社会によって大いに異なるけれども、平和という概念は「満足感」「心の安らぎ」「幸福感」が含まれ、すべての人々にこの気持ちが満たされた時—それが究極的な平和であります。

「平和」についてのテーマは、クラブ計画書及びロータリーの友 7 月号に詳しく掲載されていますので、それ等をお読み頂くとして、私はむしろ田中 RI 会長がロータリーの友 2 月号と 3 月号に的を射た「これからのロータリー」への提言、助言をされています。それに注目したいと思います。

【1】ロータリーは世間に伝える力に欠けている。

ロータリーは素晴らしいことをたくさんしていますが、そのことがあまり世間に知られていません。この状況を変える必要があります。知名度を今より高める必要がある。ロータリーはどんな団体か、どんな活動をしているのか、どんな方向に向かっているのか、どんな恒久的テーマ（精神）でやっているか知られていない。イベントの度に、中部経済新聞等の掲載だけで満足することなく、実現可能な範囲でのマスメディアへの訴求を更に広め、各クラブ単位で世間へ訴求力を高めて頂きたい。

【2】田中作次 RI 会長が若いロータリアン一人一人にお聞きしたいこと（ロータリーの友 2 月号 横組み P12）

ロータリーは高い地位も低い地位もなく、クラブの中では皆平等であります。皆さんがロータリアンであることで、ロータリーから何を御得いただけますか、そしてロータリーがこれからどうなっていくべきか進むべき道はどのようにしたいか、若いこれからのロータリアンに特にお聞きしたい。

一日本のそしてロータリーの「来し方」を省み、未来像を描いて下さい。若きロータリアン 40 代、50 代の方々の重要な使命です。60 代もまだまだこれからです。むしろ「花の盛り」ロータリアンの一番いい年頃と言っても過言ではありません。還暦を「これまで」と考えず、「これから」という発想でチャレンジして頂きたいものです。クールでマンネリの持つ安心感も結構かもしれませんが、明日への活力を創る中で、もっと多くの「ぬくも

り」が行き交うロータリーに成長するよう祈ってやみません。—

【3】「会員増強について」2012 年国際協賛会閉会本会議にて（ロータリーの友 3 月号 横組み P 32）

「ロータリーが大きくなれば大きいほど強くなることは確かです。しかし、会員数だけを目標とすべきではありません。会員数を増やすためだけに新会員を入れてもロータリーは強くなれません。ただ入会できる人ではなく、ロータリアンになれる人を入会させて初めてロータリーは強くなれるのです。私たちは皆ロータリーから恩恵を受けています。自分と同じ幸せを新入会員の味わってもらいたい。ロータリアンになるよう、声をかける時に必ずこのことを思い出して下さい。」と数合わせだけの勧誘を強く否定されておられます。—このご指摘は至極ごもっともです。

ロータリーの友（過去の）柳壇いわく

“増強とあせる気持ちから回り”ともちろん会員増強も最重要事項ではありますが、私はむしろ今クラブに在籍する会員がロータリークラブに「ときめき・感動」を少しでも抱えているか否かが退会防止のカギを握っていると思います。幸いにも東名古屋区分は、会員増強に意欲的であり、去る 4 月 15 日の地区協議会後に開催された「会員増強セミナー」に於ける話では、11RC で計 60 名が目標となっております。大変頼もしいことです。そしてその一方で私は比較的新しい会員への配慮が大いに必要と思います。

従来のメンバー（特にロータリー情報委員会や紹介者）が例会毎に新入会員の近くにおいて、クラブへの不安、不備、倦怠感（またある時は逆に称賛）を聞き出す努力をすべきです。孤独感、違和感を抱いて退会してしまった例はたくさんあります。

禪語臨濟宗開祖「臨濟禪師」いわく、“随处主となれば、立つ処皆真なり”と。

主とは、主体性を持つことである、自分自身を惜しまぬ愛情であり、「真実の生命にめぐり会え、そこに生き甲斐を感じるのだ」と説いておられます。ロータリーは義理であるいは仕方なく出席する会合ではありません。主体性を持って「例会」という人生道場に出席しましょう。

東名古屋区分の 11RC は大・小あっても、それぞれに特色があって「みんな違ってみんないい!!」のです。

意欲的にロータリアンになれる人に自信をもって入会して頂くようお願いいたします。

<余談>

「メイクアップ」

聞くところによりますと、ヨーロッパのクラブで比較的少人数のクラブの殆どは、メイクアップに来る外来メンバーに、たとえ 30 秒でも自己紹介をする時間を設けているようです。ただ黙って出席しているだけでなく、ビジターを心から温かく迎えるというこの姿勢は学ぶべきところがあります。

「ROTARY SONGS」

団体の理念を 100 回聞くよりも、素晴らしい歌を 1 回歌う方が、参加意識が高まります。ロータリーソングは大切です。田中作次 RI 会長のテーマ「奉仕を通して平和を」は、ロータリーソングにたとえるなら「奉仕の理想」

千田ガバナーのテーマ「～Touch the Rotary～ふれあい、思いやり、そして握手」は、「それでこそロータリー」「手に手つないで」

素朴な疑問

「奉仕の理想」は、なぜかロータリーの大きなイベントに斉唱されています。また各クラブでも月初めの例会に肅々と歌われています。

この曲は1935年（昭和10年）に作詞、作曲されたと聞いています。この頃は、軍の力が益々強くなり、好むと好まざるとにかかわらず、日本が戦争に巻き込まれていく時代です。

<御国に捧げん我等の生業>はまさに時代を反映しています。しかし、<望むは世界の久遠の平和>とその後続きます。ロータリーもロータリアンも「平和」を強く望んでいたのだと思いますが、表だって戦争に反対することなく、時の流れに流されてしまったのでしょうか？

田中作次 RI 会長が「平和」を唱えられておられる今年、こんなことを考えてみるのも意義があります。

<追記>

千田ガバナーが指摘される「社会的、経済的危機が続く世相」を表現した「川柳」があります。

経済面／底ぼっかり打てるうちに底が抜け（景気）

ホリエモンの頃はよかったなア みんな！

（リーマンショック以前）

社会面／原発の怖さが最もクールビズ

（緊張の夏 日本の夏）

初めからないと思えば知恵も湧き

フクシマを持って余す国 再稼働

（ノド元すぎれば）

第 2760 地区 千田 毅ガバナーのテーマは
～Touch the Rotary～ “ふれあい、思いやり、そして握手”

やさしくて、温かくて、愛情で包み込むような近來まれにみるテーマであります。

千田ガバナーが、地区のロータリアン一人一人に訴えておられること、それは、「社会的、経済的危機が未だに続いている現実の中で、ロータリーは何をなすべきか？一般の人の目線に立って、ふれあい、思いやりを持って行動する活動であり、ロータリーだからできる特権があります。握手、強くもって強く、一人一人が向き合いながら触れあって下さい。そのひとときしかないコンタクト。相手の体温を感じながら、タッチして友情を深めて下さい」と強調しておられます。

千田ガバナーが提唱される活動

【1】東日本大震災 被災高校生支援

2013年入学（高校生）からのスタートで、“国内 2760 地区にも、お父さん、お母さんがいるんだよ”と彼等に寄り添い、心の支えになろうというプログラムであります。各クラブのチームリーダーの下、IIRC それぞれの取り組みがされようとしています。クラブ協議会でもいろいろとご協力を重ねて頂きたいと思っております。

【2】地区内交流の活性化

ガバナー方針の一つ「地区内交流の活性化、他の分区の例会に出席しよう」であります。我が東名古屋分区は、「南尾張分区」と交流することになっております。貴クラブは、東海ロータリークラブで、例会日は水曜日です。

【3】会員増強

4月15日（日）の地区協議会後に開催された「会員増強セミナー」で、貴クラブの目標は、（1名）とお聞き

しています。「会員増強」は千田ガバナーの重点目標に取り上げられ、併せて「女性会員、各クラブに1名以上の増員」を提案しておられます。

【4】米山、財団への協力貢献

これからのロータリーへ

私の提案：ロータリーの恒久的精神的テーマが必要です。<例>「日本に注目」または「日本を見直そう」できれば近い年度から、ぜひ恒久的テーマを掲げ、各クラブが自信を持ち、強く世間にも訴求することが必要である。それは、「会員増強・退会防止」ひいては「職業奉仕」につながり、主体性のある「独立自尊」の日本のロータリーの未来への飛躍が期待できる。折しも、来る2020年は、日本のロータリー誕生100周年である。

■自分の生まれた国を熟知した人間になる。

（学ぶ、知る、語る） それでこそ真の国際人

■日本の自然、四季の恩恵、感謝

日本人の道徳精神

■日本人としての本来の幸福は何なのか

日本の家族、地域の絆の強化 ここにロータリアンの大きな役目がある

■次世代に伝えたい、そして各例会の卓話のテーマにしたい

- ・日本の文化…伝統芸術、伝統芸能 ※江戸時代の町人文化にみる人間らしい生きざま
- ・優れた日本の技術（負けるなり）
- ・日本的経営を見直すのも一興
- ・日本の建築、インテリア
- ・日本人のしきたり
- ・領土問題
- ・日本の環境（水、衛生）
- ・日本の食生活（日本人に最適な和食、和菓子）
- ・日本の数々の無尽蔵の知恵
- ・大震災後のニッポン — 世界が感嘆する日本人（美徳、不屈の精神等々）

一期一会、絆

各例会は、人生一回の出会い、またとない、ひとときしかないコンタクトです。だからこそ「卓話の充実」が大事です。今日会ったメンバーの100%全く同じで、再び会うことはありません。故 杉本健吉画伯が「今日は本日限り」とおっしゃっておられる通り、ロータリアン同志の「出会い」も「よっぽどのご縁」であり、奇跡と言っても過言ではありません。「在ること難し」今日の出会いを未来に向けてがんばりましょう!!

最後になりましたが、

【1】本年度の地区大会は、10月27日（土）10月28日（日）に安城 RC のホストにより、ウェスティンナゴヤキャッスルで開催されます。

10月27日（土）の記念講演は、紺野美沙子氏（国連開発計画親善大使）10月28日（日）の記念講演は、落合博満氏（元中日ドラゴンズ監督）の二つの講演が予定されています。

【2】来年の2013年2月18日（月）は、名古屋昭和ロータリークラブのホストにより、I. M. が名古屋東急ホテルにて開催されます。I. M. は分区の会員が一堂に集まる一大イベントであります。（東名古屋分区大会）各クラブ全員の参加をお待ちしております。

本日はありがとうございました。



会長・幹事懇談会 11:30~12:20



井上雅之ガバナー補佐、安藤東元地区副幹事、平岩光二分区幹事を囲み懇談会が行われました

クラブ協議会 13:40~14:40



各委員長より今期の活動内容や計画について報告後、ガバナー補佐より社会奉仕事業等について、もっとPRをした方が良いのではとご提案がありました

◆理事役員会議事録

1. 顕彰規程制定の件
第2条の表彰次期の件も含め次回継続事項とする
承認
2. キャンヘルプタイランドへ学校施設建設事業支援の件
グローバル補助金を使い1,000万円規模の寄付を支援するかクラブとしては金銭的に無理であるので、次年度の課題としてプロジェクトチームを結成する
承認
3. 10月2日 優良従業員表彰の件
現在、推薦者が無いので当日は30周年の打ち合わせとする
承認
※その後、竹内幹事より1名、加藤君より2名推薦有り予定通り表彰開催する。
30周年打ち合わせは10月9日に変更
4. 次年度地区委員会委員推薦の件
広報委員会（池森君）
職業研修チーム委員会（渡邊君）次年度も継続
米山奨学委員会（鈴木聖三君）今期のみを希望だが地区委員会との兼ね合いにて返事は保留。
新しく会員を選出しない
承認
5. 新世代（名古屋YMCAチャリティーラン）の件
今期 支援はしない
承認
6. 9月7日財団正副委員長会議（渡邊君より）報告
 - ・年次寄付目標は今期150ドル
 - ・ロータリーカード普及推進とりあえず作る千種RC現在2名
 - ・グローバル補助金、次年度よりパイロット地区の制限が外れる
 - ・VTT 今期カナダとの医療チーム交換

・世界平和フェロシップ留学生 折田宏子さん
イギリスのロースクールへ1年留学

ニコボックス

井上雅之ガバナー補佐
平岩光二分区幹事
安藤東元地区副幹事
補佐訪問、お世話になります

小林 英毅
今夜サッカー日本代表（男子）はワールドカップアジア予選でイラクと斗います。今日勝てば、ほぼ予選突破です。

小山 雅弘
井上ガバナー補佐は小学校、大学の大先輩です。

大口 弘和
井上ガバナー補佐、安藤地区副幹事、平岩分区幹事、本日は宜しくお願い致します。

鈴木 聖三
9月4日よりサンフランシスコに行き、ワインの本場ナパヴァリーにてオーパスワンを飲みました。
おいしかったです。

竹内 克豊
本日は井上ガバナー補佐にお越し頂いております。
宜しくご指導のほどお願い致します。

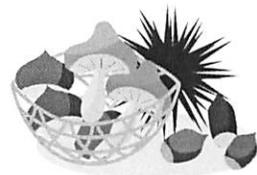
竹内 眞三
30周年に当り当クラブにも『歴代会長会』を企画提案いたします。開催日、時間等は現理事会で御勘考下さい。歴史、伝統の認識のない組織は必ず崩れます。千種RCが日本國にならぬ様に・・・。

谷口 優
本日は井上ガバナー補佐、安藤地区副幹事、平岩分区幹事にお越し頂いております。
宜しくご指導のほどお願い致します。

渡邊 源市
ガバナー補佐井上様 地区副幹事安藤様、分区幹事平岩様、本日は宜しくお祈りします。

足立 一郎	萩原喜代子	林 正路
池森 由幸	樫尾 富二	加藤 重雄
近藤 和幸	柵木 充明	三好 親
西川 豊長	大谷 恩	尾関 武弘
佐久間良治	佐野 寛	鈴木 理之
舎人 経昭	吉田 玄	

井上雅之ガバナー補佐
本日は宜しくお願い致します



73,000 円